

巨匠ゴッホ、被災地つなぐ

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 空欄Aに入る語句を、漢字6文字で書きましょう。

--	--	--	--	--	--

2 空欄BCには印象派の画家の名前が入ります。次の中から選んで記号で書きましょう。(順不同)

- ㊶ モネ
- ㊸ ドラクロア
- ㊵ シャガール
- ㊷ ルノワール
- ㊹ ラファエロ
- ㊺ ピカソ

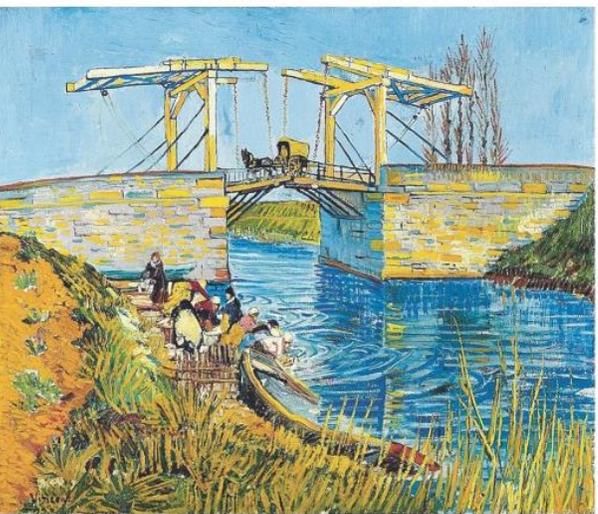
--	--

3 空欄Dには、江戸時代の風俗を描いた絵画のジャンルが入ります。漢字3文字で書きましょう。

--	--	--

神戸、福島で巡回展

「芸術で人々を元気づけたい」。阪神・淡路大震災から30年となる2025年と27年の前後期に分け、神戸市立博物館を会場に、ゴッホの油彩画などが展示される「大ゴッホ展」（神戸新聞社主催。傑作とされる「夜のカフェテラス」（1888年、油彩画）など、希望と活気に満ちあふれた作品が神戸にやってくる。Aから15年となる26年には福島県でも開催され、二つの被災地の人々を励まし、心を寄せ合う特別展となる。（1面参照）



「アルルの跳ね橋」(Van Gogh) © Collection Kröller-Müller Museum, Otterlo, the Netherlands. Photography by Rik Klein Gofink

69年ぶり「アルルの跳ね橋」も

ポスト印象派の画家フィンセント・ファン・ゴッホ（1853～90年）の作品を収蔵するオランダのクレラー・ミユラー美術館から借り受ける。バン・テンペル館長は「神戸をはじめとする日本人々に元気づけたい」と、未だに元気と勇気を届け、未来に向けてより輝くための原動力となることを目指します」とビデオメッセージを寄せた。福島では、作品鑑賞を心身の健康につながるアートセラピーも採り入れられ、効果を数値化させる研究も行う。

25年秋からの前期は「自画像」や「夜のカフェテラス」など約60点に加え、BやCなどの約10点も展示される。後期の27年には69年ぶりに日本での展示が予定される「アルルの跳ね橋」をはじめとした作品が並ぶ。田安や航空運賃の高騰で、ゴッホ作品を多く収蔵する海外の美術館への足は遠のいている。神戸市立博物館の担当者は、顔料の立体感や筆遣い、

希望に満ちた作品中心に

ゴッホを研究する大阪大学の園府寺司名誉教授は宝塚市の「夜のカフェテラス」と「アルルの跳ね橋」について「ゴッホは日本をユートピアのように思い、南フランス・



大ゴッホ展

阪神・淡路大震災の発生から30年を前に、「大ゴッホ展」の開催が発表された記者会見（23日午後、神戸市役所撮影・大田将之）

「夜のカフェテラス」は夜空を青色で、店内を黄色で描いている。照らされた石膏には薄紫色が使われ、「補色の対比を使うことで色彩豊かな南仏の夜を描き出した」と分析する。

27年に来日予定の「アルルの跳ね橋」は橋がモチーフだが、ゴッホはごく限られた時期にだけ頻りに橋を描いた。「オランダ北東部のドレンテに滞在した時期とアルル時代に前半のみで、いずれも仲間がほしかった時期だと考えられる」と、その象徴的な意味合いを解説する。

ゴッホが日本でも好まれるようになった要因を、園府寺さんは「ゴッホが弟に宛てた多くの手紙で、Dを称賛し日本を理想化し、日本への思いが広く知られるようになった。また、作品『タンギー爺さん』にはDが描かれ、日本人美術家らが絵や文章で伝えた」と指摘。加えて「起伏に富み、物語にしやすい人生活や色彩豊かな作風が愛されたのだろう」と分析した。（津田和納、安藤真子）

NIEワークシートのこたえ（2024年7月24日公開）

◆ワークシート「ゴッホ展開催(美術)」
2024.7.24付 朝刊 社会面 解答

1 東日本大震災

2 ア イ (順不同)

3 浮世絵